



☆キャリアアップは越境から：産学の壁を超えて、未来を切り拓くあなたへ  
☆ビジネスリーダーと共に新たなチャレンジへ：殻を破る交流がもたらす飛躍の機会

## 「産学変革人材 Move Japan プログラム」募集要項

### 1. 趣旨・目的

「産学変革人材 Move Japan プログラム」は、文部科学省の「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」に採択されて 2020 年度から 2023 年度まで計 4 期実施した「産学連携教育イノベーター育成プログラム」（AIBET: Academia-Industry Bridge Program for Educational Transformation）の成果を踏まえて、2024 年度に新たなスタートを切ります。

〔参考〕AIBET は、企業人等の実務家を対象として大学教員に必要な知識・スキルを獲得してもらう研修プログラムで、2020 年度から 2023 年度までに計 341 名の修了者を輩出し、うち 77 名が既に大学等で常勤教員・非常勤講師等として活躍しています（2024 年度現在）。

AIBET については、Web サイトを参照：<https://jitsumuka.jp/innovator/entry2023>

「産学変革人材 Move Japan プログラム」は、国の事業として取り組んだ AIBET の実績を活かしつつ、**人材と知の越境・循環により、低迷する経済と閉塞感の漂う社会を変革し、日本を前に進めていく原動力となる変革人材の輩出**を目指します。

このため、**企業人等と博士人材等がビジネスとアカデミアの境界を越境して共に学ぶ**ことで、人材育成を通じた新たな価値創造と社会変革の推進者へと成長することを期待しています。また、広く産官学における異業種間・異職種間の越境を含む多様な人材の出会いと学び合いの場としての役割も果たします。

本プログラムは、特に次のような方々に最適な研修プログラムとして設計されています。

#### ・企業のビジネスパーソン等のために

企業人等実務家の方々を対象に、産業界から大学へ越境して教育の変革に取り組む**実務家教員（社会人教授等）**をはじめ、**企業内教育**を含め、日本の人材育成の変革に貢献する人材への成長を支援します。

#### ・大学のポスドク・大学院生等のために

大学の教職員・ポスドク・大学院生等の方々を対象に、企業人等実務家との交流・学び合いによって**産業界等で活躍するためのマインドセットやビジネススキル**を獲得する場を提供します。

### 2. プログラムの到達目標

「産学変革人材 Move Japan プログラム」の到達目標は、次に掲げるミッション・ビジョン・バリューの実現であり、これらを実現する人材育成の変革プランを策定してもらい、ルーブリックを用いて評価します。

- ① ミッション：「越境」人材による社会「変革」
- ② ビジョン：「越境」のための「学び」「出会い」の場の提供
- ③ バリュー：人と組織を元気にする「多様性」と「自律性」

### 3. 獲得が期待される知識・スキル

本プログラムの受講を通じて、次の知識・スキルを獲得することが期待されます。

- ・**産学越境戦略** (Business-Academia Crossover Strategy) : ビジネスとアカデミアの境界を超える戦略的アプローチを学び、革新的な協働と知の循環に参画する能力を獲得します。
- ・**変革と自律のマインドセット** (Innovative and Autonomous Mindset) : 経済・社会に活力をもたらす変革の先導者を目指して、基盤となる課題発見・解決能力及び自律的思考を養います。
- ・**ダイバーシティーマネジメント** (Diversity Management) : 異なる背景や専門性を持つ人々の強みを活かす協力により、挑戦と成長を続ける組織風土の形成に貢献する力を磨きます。
- ・**人材育成スキル** (Human Resource Development Skills) : 産学において変革志向のリーダーシップを育成していくため、実践的な教育プログラムと人材開発の戦略を習得します。
- ・**インストラクショナルデザイン** (ID: Instructional Design) : 学習の効果・効率・魅力を高める教育・研修設計のためのシステマティックで実践的な手法と理論を学びます。
- ・**DX リテラシー** (Digital Transformation Literacy) : デジタルトランスフォーメーションとそのための人材育成に求められる IT スキルと AI・データリテラシーを習得します。

### 4. プログラム概要

「産学変革人材 Move Japan プログラム」は、上記の到達目標の達成のため、次の6つの科目で構成されています。

|   | 科目             | 学習時間                  | 内容   |
|---|----------------|-----------------------|--|
| ① | イントロダクション      | 2時間                   | 到達目標の確認、カリキュラムの説明等。<br>越境による変革に向けた抱負等を語り合う。<br>講師：杉本和弘（東北大学教授）   |
| ② | 産学越境<br>人材論    | 2時間                   | 双方向講義<br>国際的視点から、日本の産学における人材育成・活用上の課題、変革人材の必要性、ビジネスとアカデミアの境界を越境する意義等を学ぶ。<br>講師：大森不二雄（東北大学教授）、佐渡 誠（KPMG コンサルティング(株)執行役員）、湯浅直樹（(株)サイバーレコード人事部長）  |
| ③ | 人材開発論          | 2時間                   | 双方向講義<br>教育・研修の効果・効率・魅力を高めるツールとして世界で活用される、インストラクショナル・デザイン（ID）の基礎理論や具体的手法を学ぶ。<br>講師：鈴木克明（武蔵野大学教授）、荒木恵（リープ(株)取締役）  |
| ④ | 産学変革<br>人材セミナー | 予習 2時間<br>+<br>当日 4時間 | 知見・問題意識を共有する学び合い<br>産学の越境・連携による人材育成の変革・高度化のために何が必要か、そして受講者自身は変革人材としてどう貢献するか、ディスカッションする。<br>講師：大森不二雄（東北大学教授）、杉本和弘（東北大学教授）、大坂祐希枝（マーケティングコンサルタント）   |
| ⑤ | 人材開発 DX 論      | 2時間                   | 双方向講義<br>AI・データサイエンス等の最新動向を踏まえ、人材育成のデジタル・トランスフォーメーション（DX）を進めるうえで必須の基礎的知識・スキルを学ぶ。<br>講師：喜多敏博（熊本大学教授）、中山浩太郎（NABLAS(株)代表取締役）  |
| ⑥ | 産学越境<br>人材開発演習 | 開発 8時間<br>+<br>当日 8時間 | 開発物の相互評価による学び合い<br>以上の諸科目の学習成果を活かしつつ、人材育成の変革・高度化のためのプランを最終成果物として策定・発表する。<br>講師：大森不二雄（東北大学教授）、杉本和弘（東北大学教授）、東由紀（コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)執行役員 最高人事責任者兼人事・総務本部長、コカ・コーラ ボトラーズジャパンベネフィット(株)代表取締役社長）、楠晴奈（(株)リバネス ひとづくり研究センター長） |

多忙な方でも受講できるよう、科目①②③で1日、④⑤で1日、⑥で1日、計3日（いずれも土日祝日）の受講で修了できるプログラムとなっています。

これら計3日開催する研修は、いずれも原則としてZoomを使った同期型オンライン研修として実施します。希望者向けに集合研修も可能にする場合は、事前に場所等を連絡します。

学習時間は、同期型研修時間20時間と予習・開発時間10時間の計30時間となります。

上記の諸科目では、AIBETにおいて事業責任者等の中核的役割を担った専門性の高い教員を講師とした受講者とのコミュニケーション重視の双方向講義、並びに、ビジネスパーソン・大学教職員・各種専門職など多様な受講者の交流・学び合いを活かしたアクティブ・ラーニングを行い、産学の越境・連携による人材育成の変革・高度化のためのプランを最終成果物として開発します。なお、人材育成の変革プラン策定は、AIBETにおいても実施し、受講・修了者から高い評価を得た実績があります。

## 5. 修了要件及び受講証明書の発行

修了要件は、開講期間内に本プログラムの30時間の全ての活動に参加し、指定の課題を提出することです。

修了者には、本プログラムの受講証明書及びオープンバッジ（デジタル証明書）を発行します。

## 6. 応募資格

下記、①を充たし、かつ、②又は③を充たす者。

- ① 大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められた者
- ② 専門的技術的又は管理的な職務における実務経験を有する者
- ③ 大学の教職員・ポストク・大学院生

## 7. 定員

20名（最小催行人数10名）

## 8. 費用

① 入学金：なし

② 受講料：150,000円

審査結果通知書と共に振込先をご連絡します。指定日（2024年8月中旬頃を予定）までに振込を完了させてください。支払われた受講料は、返金いたしません。プログラムを途中で辞退された場合でも同様です。

③ その他：集合研修への参加にかかる旅費・宿泊費等は自己負担とします。

## 9. 応募方法

① 応募期間：2024年7月1日（月）～31日（水）

② 応募書類：プログラム・ウェブサイト（<https://jitsumuka.jp/innovator/>）より応募フォームにアクセスし、必要事項を記載の上、提出すること。

## 10. 選考方法・日程

書類審査により選考を行ったうえで、2024年8月中に合否決定通知・受講料振込・受講確定通知を行います。

## 11. 受講スケジュール

|              |               |
|--------------|---------------|
| ① イントロダクション  | 2024年9月15日(日) |
| ② 産学越境人材論    |               |
| ③ 人材開発論      |               |
| ④ 産学変革人材セミナー | 2024年9月22日(日) |
| ⑤ 人材開発DX論    |               |
| ⑥ 産学越境人材開発演習 | 2024年10月6日(日) |
| 受講証明書等の発行    | 2024年10月      |

## 12. オンライン説明会

本プログラムに関するオンライン説明会を開催します。説明会への参加は任意ですが、プログラムへの参加を検討されている方はふるってご参加ください(事前申込必須)。

参加申込方法等は、プログラム・ウェブサイト (<https://jitsumuka.jp/innovator/>) に掲載予定です。本説明会は、Zoomにて行います。

開催日時： ① 2024年7月10日(水) 20:00~21:00  
② 2024年7月18日(木) 20:00~21:00

### 【問い合わせ先】

産学変革人材 Move Japan プログラム事務局

東北大学 高度教養教育・学生支援機構 大学教育支援センター内

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 41 Tel : 022-795-4472・4473

Email : [innovator.jitsumuka@grp.tohoku.ac.jp](mailto:innovator.jitsumuka@grp.tohoku.ac.jp)

公式  
HP

